

研究課題名「全身の深部感覚障害に対する四肢圧迫刺激部位の違いによる効果の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

基礎疾患としてシェーグレン症候群を持ち、インフルエンザウイルス罹患を契機として呼吸状態および身体機能が著しく低下し、免疫グロブリン療法目的で、2017年6月20日～7月3日の期間に当院に入院した20歳代女性。

2. 研究目的・方法

目的：深部感覚障害は、日常生活動作能力低下を招く主要因となり得る。深部感覚の基礎となるのは、関節、筋、腱に存在する受容器であり、特に筋、腱においては筋紡錘およびゴルジ腱器官がその役割を担っているとされている。筋紡錘は筋長、ゴルジ腱器官は筋の張力によりそれぞれ発火頻度が変化するとされており、これらを狙った持続的圧迫刺激は、深部感覚を改善する可能性がある。今回、慢性炎症性脱髄性多発神経炎を罹患し、全身の深部感覚障害を来した症例に対し、弾性バンドによる四肢の圧迫刺激を理学療法介入時に取り入れた経験をしたため、その効果を検討することを目的とする。

方法：診療録より理学療法実施時の情報を収集した。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より、膝関節および足関節の位置覚、平行棒内3m歩行速度と平行棒内Timed Up Go Test、Numerical Rating Scale、による自覚的歩きやすさ、Barthel Index についての情報を収集する。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 柴田篤志

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号 : 052-744-2687 FAX 番号 : 052-744-2688

e-mail: atushi773@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号 : 052-744-1901

研究責任者 :

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 柴田篤志